

情報提供：国立感染症研究所感染症学センター第三室(予防接種室) 室長 多屋 馨子 先生

MRワクチン スケジュール	MRワクチン 第1期	MRワクチン 第2期	出生時
1回	1回	1回	12カ月
年中	5歳	6歳	24カ月
1回	7歳	8歳	3歳
			4歳
			5歳
			6歳
			7歳
			8歳

**1期** 生後12~24カ月未満  
**2期** 5~7歳未満で小学校就学前の1年間  
(通常、幼稚園・保育所児の最年長児)  
第1期と第2期に1回ずつ、合計2回接種します。

麻しんや風しんは  
免疫がなければ誰もがかかり  
1歳になったら出来るだけ早めに  
予防接種を受けましょう!

## 麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を受け取る時期は?

# 麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を受けましょう!

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)とは・・・  
麻しんワクチンと風しんワクチンが一つになったワクチンです。 1歳の誕生日を迎えたら早めに

就学前にも  
忘れずに

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)で予防できる病気

- 麻しん(はしか)
- 風しん



## 麻しん(はしか)ってどんな病気?

麻しんは、麻しんウイルスによって起こる感染症です。非常に感染しやすい病気で、免疫を持たない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

2007年から2008年にかけて麻しんの大流行が起こりました。子どもの病気で考えられていた麻しんが10~20歳代の若者で流行し、高校や大学が休校になりました。麻しんは子どもだけの病気ではなく、大人でも注意が必要です。

### 主な症状

- 発熱(最初3~4日間は38℃前後、一時下がった後、再び39~40℃の高熱)
- せき ● 鼻水 ● めやに ● 発疹 など

**【合併症】**  
気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などを合併することがあります。予防接種を受けずに、麻しんにかかった人は数千人に1人の割合で死亡することがあります。

妊婦が麻しんにかかると・・・  
麻しんは感染力が強い病気なので、免疫を持たない妊婦が麻しんにかかると流産や早産になります。妊婦は接種できないワクチンもあるため、周りの人がワクチンを接種して妊婦を守りましょう。

## 風しんってどんな病気?

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹などを特徴とするウイルス性の発疹症です。子どもの場合は、数日で治ってしまう比較的軽い病気ですが、すべての症状がそろわないことがよくあります。関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などを合併することもあります。また、大人になってからかかると重症になるため、注意が必要です。

麻しん風しん混合(MR)ワクチンを妊婦に接種することはできません(接種不適当者)。生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るためには、妊娠を希望する女性(妊娠期間中を除く)だけでなく、その家族や周囲の人々(職場や学校など)がMRワクチンを接種し、風しんに対する免疫を持つことが大切です。



妊婦が風しんにかかると・・・  
妊婦、特に妊娠20週頃までの女性が風しんにかかると、胎児も風しんウイルスに感染し、目、耳、心臓などに先天性の病気をもち、可能性があります。この病気を先天性風しん症候群といいます。